

令和4年度事業計画(案)

2 自主事業

(1) 環境施設見学会

目的	親子で環境にやさしエネルギー等について学習し、地球温暖化に関心を持ち行動につなげる。
内容	環境にやさしいエネルギー等の見学・学習を実施。
推進体制	協力団体・企業との連携
場所	横浜市内
対象	横浜市内の親子
期間	令和4年7月～令和5年1月
予算	20千円
協力団体等	横浜市資源循環公社、日本風力発電協会等

(2) 省エネ診断事業

目的	横浜市の脱炭素社会実現のためには省エネの実行が不可欠であり、また、特に協議会の参加団体には事業者も多く、ビルの省エネに向けた省エネ診断は重要である。省エネ学習会、省エネ診断実施により実情を把握して出来るところから省エネを実践することを目的とする。
内容	①主に中小企業の会員対象に、省エネ学習会、診断を実施する 講師:幹事歌川学氏(産業総合技術研究所上級研究員)、社団法人省エネルギーセンター、(株)旭広告社(一昨年度省エネ診断受講、お金をかけないでできる省エネ取り組み実施経験企業) ②省エネセンターが実施する省エネ診断を活用して、会員企業の省エネ診断を実施する。10社程度 ③関内まちづくり振興会環境部会に参加して、ビルの多い関内エリアで省エネ学習会、省エネ診断実施により横浜市内でのビルの省エネモデル地域をつくる。7か所程度
推進体制	省エネ診断チーム発足 歌川幹事、省エネセンター、佐藤、新村幹事
場所	会員企業、関内エリア
対象	オフィスビルの事務所所有者、入居者
期間	令和4年7月～令和5年3月
予算	50千円
協力団体等	会員中小企業、関内まちづくり振興会、産業技術総合センター、省エネルギーセンター等

(3) 横浜サステイナブル市民会議事業

目的	令和4年度で立ちあげた会議を脱炭素社会への転換の幅広い議論の場として、各界、各層の参画で推進する。
内容	①会員、Face book チームゼロの参加者、市内で活動する NPO 等に参加を呼び掛ける。 ②学者や研究機関等と連携する ③具体的テーマを設定し、テマ一毎のチームによるワークショップ等の実施により具体的取り組みを設定する。 ④出てきた具体的取り組みは広く公表して一般市民等の行動を促す
推進体制	推進会議の発足 市民(佐藤まとめ)、企業(大川副会長まとめ)
場所	横浜市内
対象	会員、Face book チームゼロ参加者、市内で活動する NPO、区民まつり参加者等
期間	令和4年7月～令和5年3月
予算	50千円
協力団体等	会員企業・大学・団体・個人、FACE BOOK 参加団体・企業等

(4) アースアワーへの参加

目的	世界的消灯イベントアースアワーに参加する横浜市と連携して、zero carbon yokohama を実践する企業、市民を増やす。
内容	①横浜市、地域や企業、市民と連携して3月の土曜日に世界で同時開催する消灯に参加して、zero carbon に取り組む企業や市民に行動を促す。
推進体制	普及啓発委員会、自治会・町内会、学校、区役所との連携
場所	横浜市内
対象	会員、Face book チームゼロ参加者、市内で活動する NPO、区民まつり参加者等
期間	令和4年7月～令和5年3月
予算	20千円
協力団体等	自治会・町内会、学校、企業等

(5) 関東地域温暖化対策地域協議会との連携事業

目的	関東地域の温暖化対策地域協議会と連携して、取り組みの共有を図る。
内容	地球温暖化対策地域協議会情報共有事業への参加
推進体制	全体事務局の市川市から各協議会によびかけ。
場所	今年度の事務局となる地域で開催
対象	横浜市地球温暖化対策地域協議会会長・副会長・事務局、横浜市
期間	令和3年6月～令和4年1月
予算	10千円
協力団体等	横浜市